

第 66 回「言葉の院外処方箋」

『扉を開く教育の場 ～ 言葉・姿勢・視点 ～』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

2021年7月15日は、新渡戸記念中野総合病院での倫理委員会に赴いた。大変、有意義な学びの時となった。スタッフの真摯な姿勢には、感動した。7月16日は、ルーテル学院大学の『現代生命科学』の『先天性異常』（14:30-16:10）と『腫瘍』（16:20-18:00）の授業に赴いた。将来、「臨床心理士」を目指したい学生も多くおられた。「先生のような言葉で、姿勢で、視点で、若い学生さんたちの学びの場を作り上げていく方が、たくさん たくさん 必要な時代ですね。— 世代のたくさんの方達の 扉を開く教育の場で、先生のますますのご活躍をお祈りいたします！」との心温まる励まされるメールが届いた。涙無くして語れない！

2021年3月8日 展覧会『長島愛生園の人びと ～ ハンセン病、隔離と希望』（立命館大学国際平和ミュージアム中野記念ホールに於いて）（主催：長島愛生園歴史館/ 共催：立命館大学生存学研究所、「長島愛生園の人びと」現地実行委員会/）での講演『「生きがいについて」～ 愛を持ってこれを貫く ～』に赴いた（画像1）。想えば、2012年、長島愛生園の医師であった神谷美恵子（1914-1979）の「神谷美恵子記念が哲学カフェ」が開催され、2014年には、「神谷美恵子 生誕100年」の時には、故 日野原重明 先生（1911-2017）の講演と神谷美恵子 次男神谷徹 氏との鼎談に出席した。新渡戸稲造（1862-1933）は、神谷美恵子の両親：前田多門（1884-1962）の仲人であった。神谷 美恵子は、日本の精神科医。哲学書・文学書の翻訳やエッセイの著者としても知られる。『神谷美恵子 生誕100年/神谷美恵子記念がん哲学外来カフェ発足2周年』では、『読書感想文コンクール』が企画された（画像2）。全国から多数の公募があり、筆者も審査委員として関わった。驚くことに、『樋野興夫賞』も創設された。今も、毎月『愛カフェ（神谷美恵子記念がん哲学外来カフェ）』として開催されているとのことである。来年は、『愛カフェ10周年記念』シンポジウムが企画されるようである。「人生の継続性」を実感する日々である。来年の『愛カフェ10周年記念』でも、また、『読書感想文コンクール』が企画されると歴史的大事業となろう！ 「時の流れ」を感じる今日この頃である。

すべての始まりは「人材」である。「行動への意識の根源と原動力」を持ち、「はしるべき行程」と「見据える勇気」、そして「世界の動向を見極めつつ、高らかに理念を語る」は、時代的要請でなかろうか！

立命館大学 国際平和ミュージアム
Kunitani Museum for World Peace, Kunitani University

長島愛生園の人びと

ハンセン病 隔離と希望

国の隔離政策、人権侵害、いわれなき差別と偏見。逸散な現状を乗り越えるため、療養所の人びとは立ち上がった。本企画展では、かつてハンセン病患者を隔離収容した国立療養所長島愛生園に残されている資料から、彼らの生活の一端を抜粋し実像を描き出すことを試みている。人権が尊重される社会、それは療養所の人びとが望んでやまなかつた社会。新たな感染症をめぐる差別が見受けられる今、今だからこそ彼らの足跡から学ぶ意味は大きい。

立命館大学国際平和ミュージアム1階中野記念ホール
及び 立命館大学

令和3年3月1日(月)～3月27日(土)
入場無料 開館時間 10:00～15:00 [日曜休館]

関連オンラインイベント[無観客/後日オンライン配信]

3月1日(月) 13:30～15:00	3月6日(土) 13:30～15:00	3月8日(月) 13:30～15:00	3月13日(土) 15:00～16:30	3月16日(火) 13:30～15:00
<ul style="list-style-type: none"> 長島愛生園歴史資料展 国立療養所長島愛生園の歴史と現状 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 	<ul style="list-style-type: none"> 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 	<ul style="list-style-type: none"> 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 	<ul style="list-style-type: none"> 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 	<ul style="list-style-type: none"> 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談) 長島愛生園の歴史と現状(対談)

全オンラインイベントをyoutube「長島愛生園歴史資料展」チャンネルにて配信いたします。

お問い合わせ先
TEL: 076-23-5571 Fax: 076-23-7182
http://www.kunitani.ac.jp
www.kunitani.ac.jp/museum

主催：長島愛生園歴史資料展
協賛：立命館大学国際平和ミュージアム、長島愛生園史蹟保存会、立命館大学国際平和ミュージアム、立命館大学中野記念ホール、立命館大学国際平和センター、立命館大学国際平和センター、立命館大学国際平和センター、立命館大学国際平和センター、立命館大学国際平和センター、立命館大学国際平和センター

神谷美恵子生誕100年／神谷美恵子記念がん哲学外来カフェ発足2周年

読書感想文 コンクール



長島愛生園で精神科医療を担当された神谷先生。病気に加え強制隔離、ハンセン病への偏見・差別のため、多くの入所者が苦悩の日々を送っていました。そうした人々に寄り添う中から多くの著作が生まれました。

神谷美恵子賞	1篇	賞状	副賞10万円
長島愛生園長賞	1篇	賞状	副賞 3万円
入所者自治会長賞	1篇	賞状	副賞 3万円
樋野興夫賞	1篇	賞状	副賞 3万円
みすず書房賞	1篇	賞状	副賞 3万円

応募締切

必着

平成27年1月5日(月)